

感覚運動医学講座／皮膚科学分野 附属病院／皮膚科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 稔	平成25年6月- 平成18年10月-平成18 年12月,平成24年4月- (平成29年8月-現職)
講師	飯野 志郎	平成19年12月-(平成26 年4月-現職) 平成29年 7月
講師	徳力 篤	平成16年8月-平成17年 9月,平成20年10月-
助教	井戸 英樹	平成17年4月-平成18年 7月,平成23年4月-平成 29年8月
助教	高嶋 渉	平成26年4月-
助教	知野 剛直	平成29年9月-
助教	馬場 夏希	

2. 研究概要

研究概要

1) 全身性強皮症の新規治療法の開発

炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症は膠原病のひとつであるが、いまだ良い治療法が確立されていない。このため、強皮症の動物モデルを用いて新規治療の探索を行っている。

・ケモカインを標的とした抗体治療

プレオマイシンの連日皮下注射により誘導される強皮症のモデルマウスにおいて、マクロファージなどの遊走に作用するケモカインCX3CL1を阻害するモノクローナル抗体の腹腔内注射による治療効果を検討している。本年度の研究において、この抗体治療が皮膚の炎症や線維化に加えて血管障害を抑制することがこれまでの検討で明らかとなり、その作用機序を解析している。抗体治療によってCX3CL1の受容体であるCX3CR1を発現したマクロファージなどの皮膚浸潤が著明に抑制されることがわかってきた。抗CX3CL1抗体は現在関節リウマチ患者などの臨床試験が進行しており、将来的には実際の強皮症患者の治療に発展させることを目指している。

・新規化合物を用いた治療

共同研究者らが開発したTGF- β -Smadシグナルを抑制する新規化合物HPH-15の強皮症治療への有用性を検討している。プレオマイシン誘導性の強皮症モデルマウスにHPH-15を連日経口投与すると、皮膚の炎症や線維化が抑制され、問題となる副作用もみられないことがこれまでの検討でわかっている。また、その作用機序についても解析を進めており、

線維芽細胞からのコラーゲン産生を抑制すること、及び早期の炎症性マクロファージの浸潤やそれに引き続き線維化を誘導するM2マクロファージの浸潤を抑制することが明らかとなってきた。HPH-15以外にも、いくつかの化合物の有用性について検証を進めている。

2) 表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の検討

乾癬やアトピー性皮膚炎などの炎症性皮膚疾患の患者病変部皮膚においては、正常な皮膚に比べて表皮上層にデルモカインの恒常的な発現が増強していることを報告してきた。また、*in vitro*ではデルモカインが表皮細胞の活性化や増殖を抑制する作用が認められた。しかし、*in vivo*での役割はよくわかっていないために、遺伝子欠損マウスを作成することにした。

・デルモカイン欠損マウスの作成

最近我々はデルモカイン欠損マウスを作成した、その表現型の解析を行っている。これまでの検討で、デルモカインの欠損により、生後10日間程度の限られた時期に皮膚の角化、かさつきがみられている。デルモカインは正常な角化に必要と考えられるが、その後に症状が消失する理由としては、他の物質による代償機能が考えられる。角化やバリア機能に重要な他の分子との関わりも含めて現在その役割を詳しく解析している。

・デルモカインの皮膚疾患における役割の検討

上記のデルモカイン欠損マウスにイミキモドを外用して乾癬を誘導すると、野生型マウスに比べて乾癬が著明に悪化することが明らかとなった。その機序としては、免疫組織染色、フローサイトメトリーなどを用いた解析により、デルモカインが好中球やIL-17A産生性の $\gamma\delta$ T細胞の浸潤を抑制している可能性が示唆されてきている。現在、アトピー性皮膚炎などの他の皮膚疾患におけるデルモカインの役割についても検討している。

3) 硬化性萎縮性苔癬の血清診断法・抗原特異的な治療法の確立

硬化性萎縮性苔癬は難治性の炎症性疾患であり、慢性の経過中に発癌を生じることがある。確定診断が病理組織学的に行われることや、病勢を把握する血清マーカーが無いことなどの問題点を踏まえ、我々は簡便かつ侵襲の少ない血清診断法、ならびに新規の治療法の開発を模索している。

・硬化性萎縮性苔癬患者の約7割に血清中抗ECM1抗体が存在することを我々は始めて報告した。その低い抗体価のために蛍光抗体間接法などの一般的な手法では検出が困難だったが、より鋭敏かつ特異性の高い血中抗体価の検出法を確立することを目指している。得られた知見は、抗ECM1抗体が本疾患のバイオマーカーとして、日常診療での病勢把握や治療効果の判定に応用できるかどうか検討を重ねていく予定である。

4) 肥満細胞症のc-kit遺伝子変異の集約的解析

肥満細胞症は小児～成人までの幅広い年齢層に様々な形態で生じる良性的腫瘍性疾患であるが、まれに白化して悪性の転移を取ることが知られている。本疾患の予後や治療法の選択をする上で、我々は肥満細胞の異常な増殖に関わるc-kit遺伝子の変異、ならびにその変異の部位が関与している可能性について報告してきた。この遺伝子変異の検索を行っている施設は本邦では殆どないことから、現在当科が全国規模を見据えた、肥満細胞症におけるc-kit遺伝子解析のプラットフォームとしての役割を担えるような体制を整えている。

キーワード

強皮症、乾癬、アトピー性皮膚炎、硬化性苔癬、新規治療

業績年の進捗状況

いずれの研究も順調に進んでおり、新たなプロジェクトも立ち上げている。

特色等

当教室では、膠原病のひとつで炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症を専門として力を入れて診療している。しかしながら、本疾患は膠原病の中でも最も治療反応性が悪く、いまだ治療法が確立されていない。このため、新規治療を開発すべく、2つのアプローチを行っている。ひとつは、マクロファージなどの組織への細胞浸潤を誘導するケモカインのひとつであるCX3CL1を抑制する抗体治療であり、もうひとつは線維化に重要なTGF- β のシグナルを抑制する新規化合物の内服治療である。強皮症のモデルマウスにこれらの薬剤を投与し、炎症、線維化、血管障害などを抑制する効果が確認され、問題となる副作用はみられていない。いずれの薬剤も市販されていないものであり、どこでもできる研究ではない。将来的には、これらの薬剤を実際の強皮症患者や他の炎症性疾患や線維化疾患に投与する臨床試験へと発展させたい。また、薬剤の作用機序を検討する中で、強皮症の病態を明らかにする手がかりが得られるものと信じている。実際に、現在検討している強皮症のマウスモデルにおいて、早期の炎症期にはLy6Chiの炎症性マクロファージの皮膚への浸潤がみられ、後期の線維化の時期には線維化に関与するサイトカインを産生するM2マクロファージの浸潤がみられることがわかっている。さらに詳細な機序について解析を進めている。

もうひとつの研究の大きな柱は、表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の解明である。この蛋白は表皮の顆粒層に発現し、角化やバリア機能の他、炎症の抑制などに作用する可能性がこれまでの検討からわかっている。しかし、その役割をより明らかにするために我々はデルモカインの欠損マウスを作成して、その表現型を解析している。このマウスでは生後10日間ほど、魚鱗癬のようなかさかさの皮膚を呈し、魚鱗癬のモデルとして有用な可能性がある。また、そのような角化異常がデルモカインがないことでなぜ生じるのか、他の角化に関わる分子との関連も含めて解析を進めている。このように、本研究は皮膚の角化やバリア機能の解明に結びつく点で皮膚科学で重要な意味を持つ。そして、独自に作成した遺伝子欠損マウスを用いた解析であり、非常に独創性の高い研究といえる。

このマウスでは、その後の成長とともに皮膚の性状は異常がみられなくなってくる。しかしながら、このマウスに代表的な皮膚炎症性疾患である乾癬モデルを誘導すると野生型マウスに比べて劇的な悪化がみられる。その機序として、デルモカインが好中球やIL-17A産生性の $\gamma\delta$ T細胞の浸潤を抑制している可能性がこれまでの検討で示されている。このように、デルモカインは角化やバリア機能異常のみならず、免疫担当細胞にも作用してある種の炎症の抑制に作用しているものと考えられ、皮膚炎症性疾患におけるバリア機能と免疫異常とのクロストークの解明の一助になるとと思われる。そして、デルモカインの発現を促進するような治療が、将来的に実際の乾癬患者に有用となる可能性を秘めており、臨床的な意義も大きい。

本学の理念との関係

当教室では世界的水準での免疫学的な研究を推進しており、これらの研究成果は皮膚科学やリウマチ学の国際的なトップジャーナルに掲載されることを目標としている。また、これらの研究を通して、地域、国、国際社会に貢献できる研究者の育成を行っている。いずれの研究も、市販されていない治療薬や遺伝子欠損マウスを用いた独創性の高いものであり、難治性の皮膚疾患やリウマチ疾患における最新治療の開発に結びつく最先端の医学研究である。これらのことから、当教室での研究内容は本学の理念にもよく合致したものであり、その意義は大きいと考える。

3. 研究実績

区分	総数	
	2017年分	インパクトファクター（うち原著のみ）
和文原著論文	9	—
英文論文	ファーストオーサー	17.131 (17.131)
	コレスポンディングオーサー	12.497 (12.497)
	その他	36.634 (36.634)
	合計	53.765 (53.765)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1733001** Koizumi H, Tokuriki A, Oyama N, Ido H, Sugiura K, Akiyama M, Hasegawa M.: Certolizumab pegol, a pegylated anti-TNF- α antagonist, caused de novo-onset palmoplantar pustulosis followed by generalized pustular psoriasis in a patient with rheumatoid arthritis., *J Dermatol.*, 44(6), 723-724, 201706, DOI: 10.1111/1346-8138.13530. (症例報告), #2.094
- 1733002** Utsunomiya N, Chino T, Oyama N, Utsunomiya A, Yamaguchi Y, Takashima W, Tokuriki A, Hasegawa M.: Sublamina densa-type linear IgA bullous dermatosis with IgA autoantibodies specific for type VII collagen: a case report and clinicopathological review of 32 cases., *Dermatol Online J.*, 23(11), 1-6, 201711, DOI: 13030/qt7gj3j797 (症例報告)
- 1733003** Iino S, Sato S, Baba N, Maruta N, Takashima W, Oyama N, Kiyohara T, Yasuda M, Hasegawa M.: Two-phase surgery using a dermal regeneration material for nail unit melanoma: Three case reports., *The Open Dermatology Journal*, 11, 81-86, 201710, DOI: 10.2174/1874372201711010081 (症例報告)
- 1733004** Utsunomiya A, Oyama N, Iino S, Baba N, Chino T, Utsunomiya N, Hasegawa M.: A Case of Erythema Multiforme Major Developed after Sequential Use of Two Immune Checkpoint Inhibitors, Nivolumab and Ipilimumab, for Advanced Melanoma: Possible Implication of Synergistic and/or Complementary Immunomodulatory Effects., *Case Rep Dermatol.*, 10(1), 1-6, 201801, DOI: 10.1159/000485910 (症例報告)
- 1733005** Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Tokuriki A, Sakai Y, Imamura Y, Hasegawa M.: Multiple subcutaneous cholesterol granulomas arising in eruptive vellus hair cysts: A case report and published work review of 11 cases., *J Dermatol.*, 44(4), 481-482, 201704, DOI: 10.1111/1346-8138.13481 (症例報告), #2.094
- 1733006** Ikeda T, Furukawa F, Kawakami T, Ishiguro N, Uzumi M, Ozaki S, Katsuoka K, Kono T, Kawana S, Kodera M, Sawai T, Sawada Y, Seishima M, Tanikawa A, Chen KR, Hasegawa M.: Outline of guidelines for the management of vasculitis and vascular disorders in Japan, 2016 revised edition., *J Dermatol.*, 45(2), 122-127, 201802, DOI: 10.1111/1346-8138.14086., #2.094
- 1733007** Koizumi H, Oyama N, Hayakawa Y, Hasegawa M.: A Case of Subcutaneous Sarcoidosis Occurring along the Superficial Veins of the Forearms: A Distinctive Cutaneous Manifestation Masquerading Venous Tropic Action in the Underlying Systemic Disease?, *Case Rep Dermatol.*, 9(1), 108-113, 201704, DOI: 10.1159/000469656 (症例報告)
- 1733008** Baba N, Takashima W, Tokuriki A, Ameshima S, Hasegawa M.: Erythema induratum of Bazin which occurred after tumor necrosis factor antagonist therapy., *J Dermatol.*, 44(epub-only.), e87-e88, 201701, DOI: 10.111/1346-8138.13716. (症例報告), #2.094
- 1733009** Luong VH, Chino T, Oyama N, Matsushita T, Sasaki Y, Ogura D, Niwa SI, Biswas T, Hamasaki A, Fujita M, Okamoto Y, Otsuka M, Ihn H, Hasegawa M.: Blockade of TGF- β /Smad signaling by the small compound HPH-15 ameliorates experimental skin fibrosis., *Arthritis Res Ther.*, 20(1), 46, 201803, DOI: 10.1186/s13075-018-1534-y, #4.121
- 1733010** Oka A, Asano Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Ishikawa O, Kuwana M, Kawaguchi Y, Yamamoto T, Takahashi H, Goto D, Endo H, Jinnin M, Mano S, Hosomichi K, Mabuchi T, Ueda MT, Nakagawa S, Beck S, Bahram S, Takehara K, Sato S, Ihn H.: RXRB Is an MHC-Encoded Susceptibility Gene Associated with Anti-Topoisomerase I Antibody-Positive Systemic Sclerosis., *J Invest Dermatol.*, 137(9), 1878-1886, 201709, DOI: 10.1016/j.jid.2017.04.028, #6.287
- 1733011** Elman SA, Joyce C, Nyberg F, Furukawa F, Goodfield M, Hasegawa M, Marinovic B, Szepletowski JC, Dutz J, Werth VP, Merola JF.: Development of classification criteria for discoid lupus erythematosus: Results of a Delphi exercise., *J Am Acad Dermatol.*, 77(2), 261-267, 201708, DOI: 10.1016/j.jaad.2017.02.030, #7.002
- 1733012** Takahashi H, Oyama N, Tanaka I, Hasegawa M, Hirano K, Shimada G, Hasegawa M.: Preventive effects of topical washing with miconazole nitrate-containing soap to diaper candidiasis in hospitalized elderly patients: A prospective, double-blind, placebo-controlled study., *J Dermatol.*, 44(7), 760-766, 201707, DOI: 10.1111/1346-8138.13781., #2.094
- 1733013** Terao C, Kawaguchi T, Dieude P, Varga J, Kuwana M, Hudson M, Kawaguchi Y, Matucci-Cerinic M, Ohmura K, Riemekasten G, Kawasaki A, Airo P, Horita T, Oka A, Hachulla E, Yoshifuji H, Caramaschi P, Hunzelmann N, Baron M, Atsumi T, Hassoun P, Torii T, Takahashi M, Tabara Y, Shimizu M, Tochimoto A, Ayuzawa N, Yanagida H, Furukawa H, Tohma S, Hasegawa M, Fujimoto M, Ishikawa O, Yamamoto T, Goto D, Asano Y, Jinnin M, Endo H, Takahashi H, Takehara K, Sato S, Ihn H, Raychaudhuri S3, Liao K, Gregersen P, Tsuchiya N, Riccieri V, Melchers I, Valentini G, Cauvet A, Martinez M, Mimori T, Matsuda F, Allanore Y.: Transethnic meta-analysis identifies GSDMA and PRDM1 as susceptibility genes to systemic sclerosis., *Ann Rheum Dis.*, 76(6), 1150-1158, 201706, DOI: 10.1136/annrheumdis-2016-210645, #12.811
- 1733014** Matsushita T, Date M, Kano M, Mizumaki K, Tennichi M, Kobayashi T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K: Blockade of p38 Mitogen-Activated Protein Kinase Inhibits Murine Sclerodermatous Chronic Graft-versus-Host Disease., *Am J Pathol.*, 187(4), 841-850, 201704, DOI: 10.1016/j.ajpath.2016.12.016, #4.057
- 1733015** Ueki M, Takeshita H, Utsunomiya N, Chino T, Oyama N, Hasegawa M, Kimura-Kataoka K, Fujihara J, Iida R, Yasuda T.: Survey of single-nucleotide polymorphisms in the gene encoding human deoxyribonuclease I-like 2 producing loss of function potentially implicated in the pathogenesis of parakeratosis., *PLoS One.*, 12(4), e0175083, 20170410, DOI: 10.1371/journal.pone.0175083, #7.806
- 1733016** Matsushita T, Hasegawa M, Takehara K: Watermelon stomach and colon in a patient with diffuse cutaneous systemic sclerosis., *Mod Rheumatol.*, 27(2), 376-377, 201705 (症例報告), #1.577
- 1733017** M. Ueki, H. Takeshita, N. Utsunomiya, T. Chino, N. Oyama, M. Hasegawa, K. i Kimura-Kataoka, J. ujihara, R. Iida, T. Yasuda: Survey of Single-Nucleotide Polymorphisms in the Gene Encoding Human Deoxyribonuclease I-like 2 Producing Loss of Function Potentially Implicated in the Pathogenesis of Parakeratosis, *PLoS ONE*, 12(4), e0175083, 201704, DOI: 10.1371/journal.pone.0175083, #3.057
- 1733018** Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Tokuriki A, Sakai Y, Imamura Y, Hasegawa M.: Multiple subcutaneous cholesterol granulomas arising in eruptive vellus hair cysts: A case report and published work review of 11 cases., *J Dermatol.*, 44(4), 481-482, 201704 (症例報告), #1.577

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

1733019

長谷川 稔: Sweet病 (Sweet症候群): 福井次矢・高木誠・小室一成: Today's Therapy 2018, 医学書院, 1231, 20180101, 978-4-260-03233-9

1733020

長谷川 稔: 皮膚潰瘍: 富野康己: 内科外来診断navi, 中外医学社, 322-323, 20170405, 978-4-498-02074-0

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1733021

高嶋 涉, 徳力 篤, 齋藤 敦子, 長谷川 稔: 多発単神経炎に対して免疫グロブリン大量静注療法が奏効した好酸球性多発血管炎性芽腫症の疑い例, 臨床皮膚科, 71(12), 972-975, 201711

1733022

吉野 雄一郎, 天野 正宏, 尾本 陽一, 川口 雅一, 境 恵祐, 土井 直孝, 橋本 彰, 林 昌浩, 間所 直樹, 浅井 純, 浅野 善英, 安部 正敏, 池上 隆太, 石井 貴之, 爲政 大幾, 磯貝 善蔵, 伊藤 孝明, 井上 雄二, 入澤 亮吉, 岩田 洋平, 大塚 正樹, 加藤 裕史, 門野 岳史, 金子 栄, 加納 宏行, 川上 民裕, 川口 雅一, 久木野 竜一, 幸野 健, 古賀 文二, 小寺 雅也, 櫻井 英一, 皿山 泰子, 新谷 洋一, 谷岡 未樹, 谷崎 英昭, 辻田 淳, 中西 健史, 長谷川 稔, 廣崎 邦紀, 藤田 英樹, 藤本 学, 藤原 浩, 前川 武雄, 松尾 光馬, 茂木 精一郎, 八代 浩, 山崎 修, レバウアー・アンドレ, 立花 隆夫, 尹 浩信: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン—6: 熱傷診療ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 127(10), 2261-2292, 201710

1733023

伊藤 孝明, 久木野 竜一, 皿山 泰子, 谷岡 未樹, 前川 武雄, 八代 浩, 浅井 純, 浅野 善英, 安部 正敏, 天野 正宏, 池上 隆太, 石井 貴之, 爲政 大幾, 磯貝 善蔵, 伊藤 孝明, 井上 雄二, 入澤 亮吉, 岩田 洋平, 大塚 正樹, 尾本 陽一, 加藤 裕史, 谷崎 英昭, 門野 岳史, 金子 栄, 加納 宏行, 川上 民裕, 川口 雅一, 幸野 健, 古賀 文二, 小寺 雅也, 境 恵祐, 櫻井 英一, 新谷 洋一, 辻田 淳, 土井 直孝, 中西 健史, 橋本 彰, 長谷川 稔, 林 昌浩, 廣崎 邦紀, 藤田 英樹, 藤本 学, 藤原 浩, 松尾 光馬, 間所 直樹, 茂木 精一郎, 山崎 修, 吉野 雄一郎, レバウアー・アンドレ, 立花 隆夫, 尹 浩信: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン—5: 下腿潰瘍・下肢静脈瘤診療ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 127(10), 2239-2259, 201710

1733024

藤本 学, 浅井 純, 浅野 善英, 石井 貴之, 岩田 洋平, 川上 民裕, 小寺 雅也, 安部 正敏, 天野 正宏, 池上 隆太, 爲政 大幾, 磯貝 善蔵, 伊藤 孝明, 井上 雄二, 入澤 亮吉, 大塚 正樹, 尾本 陽一, 加藤 裕史, 門野 岳史, 金子 栄, 加納 宏行, 川口 雅一, 久木野 竜一, 幸野 健, 古賀 文二, 境 恵祐, 櫻井 英一, 皿山 泰子, 新谷 洋一, 谷岡 未樹, 谷崎 英昭, 辻田 淳, 土井 直孝, 中西 健史, 橋本 彰, 長谷川 稔, 林 昌浩, 廣崎 邦紀, 藤田 英樹, 藤本 学, 藤原 浩, 前川 武雄, 松尾 光馬, 間所 直樹, 茂木 精一郎, 八代 浩, 山崎 修, 吉野 雄一郎, レバウアー・アンドレ, 立花 隆夫, 尹 浩信: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン—4: 膠原病・血管炎にともなう皮膚潰瘍診療ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 127(9), 2033-2075, 201709

1733025

爲政 大幾, 安部 正敏, 池上 隆太, 加藤 裕史, 櫻井 英一, 谷崎 英昭, 中西 健史, 松尾 光馬, 山崎 修, 浅井 純, 浅野 善英, 天野 正宏, 石井 貴之, 磯貝 善蔵, 伊藤 孝明, 井上 雄二, 入澤 亮吉, 岩田 洋平, 大塚 正樹, 尾本 陽一, 門野 岳史, 金子 栄, 加納 宏行, 川上 民裕, 川口 雅一, 久木野 竜一, 幸野 健, 古賀 文二, 小寺 雅也, 境 恵祐, 皿山 泰子, 新谷 洋一, 谷岡 未樹, 辻田 淳, 土井 直孝, 橋本 彰, 長谷川 稔, 林 昌浩, 廣崎 邦紀, 藤田 英樹, 藤本 学, 藤原 浩, 前川 武雄, 間所 直樹, 茂木 精一郎, 八代 浩, 吉野 雄一郎, レバウアー・アンドレ, 立花 隆夫, 尹 浩信: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン—3: 糖尿病性潰瘍・壊疽ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 127(9), 1989-2031, 201709

1733026

藤原 浩, 磯貝 善蔵, 入澤 亮吉, 大塚 正樹, 門野 岳史, 古賀 文二, 廣崎 邦紀, 浅井 純, 浅野 善英, 安部 正敏, 天野 正宏, 池上 隆太, 石井 貴之, 爲政 大幾, 伊藤 孝明, 井上 雄二, 岩田 洋平, 尾本 陽一, 加藤 裕史, 金子 栄, 加納 宏行, 川上 民裕, 川口 雅一, 久木野 竜一, 幸野 健, 小寺 雅也, 境 恵祐, 櫻井 英一, 皿山 泰子, 新谷 洋一, 谷岡 未樹, 谷崎 英昭, 辻田 淳, 土井 直孝, 中西 健史, 橋本 彰, 長谷川 稔, 林 昌浩, 藤田 英樹, 藤本 学, 前川 武雄, 松尾 光馬, 間所 直樹, 茂木 精一郎, 八代 浩, 山崎 修, 吉野 雄一郎, レバウアー・アンドレ, 立花 隆夫, 尹 浩信: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン—2: 褥瘡診療ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 127(9), 1933-1988, 201709

1733027

井上 雄二, 金子 栄, 加納 宏行, 新谷 洋一, 辻田 淳, 長谷川 稔, 藤田 英樹, 茂木 精一郎, レバウアー・アンドレ, 浅井 純, 浅野 善英, 安部 正敏, 天野 正宏, 池上 隆太, 石井 貴之, 爲政 大幾, 磯貝 善蔵, 伊藤 孝明, 井上 雄二, 入澤 亮吉, 岩田 洋平, 大塚 正樹, 尾本 陽一, 加藤 裕史, 門野 岳史, 金子 栄, 加納 宏行, 川上 民裕, 川口 雅一, 久木野 竜一, 幸野 健, 古賀 文二, 小寺 雅也, 境 恵祐, 櫻井 英一, 皿山 泰子, 谷岡 未樹, 谷崎 英昭, 辻田 淳, 土井 直孝, 中西 健史, 橋本 彰, 長谷川 稔, 林 昌浩, 廣崎 邦紀, 藤田 英樹, 藤本 学, 藤原 浩, 前川 武雄, 松尾 光馬, 間所 直樹, 八代 浩, 山崎 修, 吉野 雄一郎, 立花 隆夫, 尹 浩信: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン—1: 創傷一般ガイドライン, 日本皮膚科学会誌, 127(8), 1659-1687, 201708

1733028

宇都宮 慧, 長谷川 稔: 【エリテマトーデスをきわめる-SLEエンサイクロペディア】 (Part1) ループスエリテマトーデスに伴う特異的皮疹 (case 2) 斑状丘疹状ループス (解説/特集), Visual Dermatology, 16(8), 744-746, 201707

1733029

安富 素子, 川崎 亜希子, 山田 健太, 鈴木 孝二, 宮川 和彦, 長谷川 稔, 大嶋 勇成: レイノー現象に対してシルデナフィルが有効であった混合結合組織病の小児例, 日本小児皮膚科学会雑誌, 36(2), 117-121, 201706

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

1733030

長谷川 稔: 抗リン脂質抗体症候群, 皮膚科の臨床 疾患別 知っておきたい皮膚科の検査とその評価法, 59(6), 889-895, 201705

d. その他研究等実績（報告書を含む）

1733031

神人 正寿, 浅野 善英, 石川 治, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 尹 浩信: 好酸球性筋膜炎の診療ガイドラインの妥当性の検証, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成29年度 総括・分担研究報告書, 98-102, 201803

1733032

山本 俊幸, 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 牧野 貴充, 佐藤 伸一, 尹 浩信: 好酸球性筋膜炎の病態解明を目指した、マウス筋膜炎モデル, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成29年度 総括・分担研究報告書, 94-97, 201803

1733033

藤本 学, 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 沖山 奈緒子, 尹 浩信: 成人限局性強皮症の簡易的日常生活動作障害スコアリングシステムの有用性, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成29年度 総括・分担研究報告書, 90-93, 201803

1733034

石川 治, 浅野 善英, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 波多野 将, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 茂木 精一郎, 山崎 咲保里, 関口 明子, 藤原 千紗子, 尹 浩信: 食道運動障害を合併した全身性強皮症の臨床的特徴について, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成29年度 総括・分担研究報告書, 61-65, 201803

1733035

石川 治, 浅野 善英, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 波多野 将, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 茂木 精一郎, 関口 明子, 尹 浩信: 群馬大学皮膚科における全身性強皮症と硬化性萎縮性舌癬の重症度について, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成29年度 総括・分担研究報告書, 57-60, 201803

1733036

長谷川 稔, 浅野 善英, 石川 治, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 神人 正寿, 高橋 裕樹, 竹原 和彦, 波多野 将, 藤本 学, 牧野 貴充, 田中 住明, 佐藤 伸一, 宇都宮 慧, 遠藤 平仁, 小川 文秀, 尹 浩信: 本邦における全身性強皮症早期重症例の臨床症状の推移-多施設前向き研究-, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成29年度 総括・分担研究報告書, 48-56, 201803

1733037

尹 浩信, 浅野 善英, 石川 治, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 波多野 将, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 麦井 直樹, 佐藤 伸一: 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成29年度 総括・分担研究報告書, 3-8, 201803

1733038

長谷川 稔: トピックス①最新の医療機器を導入し皮膚科専門外来が充実しました。 Frontier, 14, 8, 201705

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 1733039** Utsunomiya A, Chino T, Utsunomiya N, Vu H Luong, Tokuriki A, Oyama N, Higashi K, Saito K, Hasegawa M.: In vivo dermokine β/γ knockout exerts impairment of corneo-epidermal barrier function., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 221
- 1733040** Matsushita T, Le Huu D, Kobayashi T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Naka K, Hirao A, Muramatsu M, Takehara K, Fujimoto M.: (The 18th Galderma-Maruho Reserch Award 受賞論文講演) A novel splenic regulatory cell subset suppresses allergic disease through phosphatidylinositol 3-kinase-Akt pathway activation., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 143
- 1733041** Matsushita T, Date M, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K.: Blockade of p38 mitogen-activated protein kinase attenuates the development of murine Sclerodermatous Chronic Graft-Versus-Host Disease., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 185
- 1733042** Vu H Luong, Chino T, Oyama N, Obara T, Kuboi Y, Ishii N, Machinaga A, Ogasawara H, Ikeda W, Imai T, Hasegawa M.: Anti-CX3CL1 antibody therapy attenuates the development of inflammation, fibrosis, and vascular injury in experimental models of scleroderma. (Plenary), The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 208
- 1733043** Oka A, Asano Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Ishikawa O, Kuwana M, Kawaguchi Y, Yamamoto T, Takahashi H, Goto D, Jinnin M, Takehara K, Sato S, Ihn H.: RXR β is a MHC-encoded susceptibility gene associated with anti-topoisomerase I antibody-positive systemic sclerosis., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 230
- 1733044** Samotij D, Szozech J, Antiga E, Chasset F, Danczak-Pazdrowska A, Polanska A, Furukawa F, Kushner C, Hashizume H, Mowla MR, Islam A, Hasegawa M, Misery L, Ikeda T, Adamski Z, Szepietowski JC, Werth V, Reich A.: Prevalence and clinical characteristics of pruritus in patients with cutaneous lupus erythematosus., 9th world congress on Itch, Wroclaw(Poland) 20171015
- 1733045** Vu H Luong, Chino T, Oyama N, Obara T, Kuboi Y, Ishii N, Machinaga A, Ogasawara H, Ikeda W, Imai T, Hasegawa M.: Anti-CX3CL1 monoclonal antibody therapy suppresses the development of bleomycin-induced and growth factors-induced skin fibrosis in mice., The 5th Annual Meeting of the International Cytokine and Interferon Society(ICIS 2017), Kanazawa, 20171029

d. 一般講演 (ポスター)

- 1733046** Utsunomiya A, Chino T, Tokuriki A, Utsunomiya N, Vu H Luong, Higashi K, Saito K, Oyama N and Hasegawa M.: Dermokine β/γ are essential for the postnatal barrier function of the epidermis., 76th Annual Meeting portland Oregon., Oregon(USA), 20170426
- 1733047** Utsunomiya A, Chino T, Utsunomiya N, Vu H Luong, Tokuriki A, Oyama N, Higashi K, Saito K, Hasegawa M.: In vivo dermokine β/γ knockout exerts impairment of corneo-epidermal barrier function., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 221
- 1733048** Matsushita T, Date M, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K.: Blockade of p38 mitogen-activated protein kinase attenuates the development of murine Sclerodermatous Chronic Graft-Versus-Host Disease., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 185
- 1733049** Vu H Luong, Chino T, Oyama N, Obara T, Kuboi Y, Ishii N, Machinaga A, Ogasawara H, Ikeda W, Imai T, Hasegawa M.: Anti-CX3CL1 antibody therapy attenuates the development of inflammation, fibrosis, and vascular injury in experimental models of scleroderma. (Plenary), The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 208
- 1733050** Oka A, Asano Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Ishikawa O, Kuwana M, Kawaguchi Y, Yamamoto T, Takahashi H, Goto D, Jinnin M, Takehara K, Sato S, Ihn H.: RXR β is a MHC-encoded susceptibility gene associated with anti-topoisomerase I antibody-positive systemic sclerosis., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 230
- 1733051** Oyama N, Takahashi H, Tanaka I, Hasegawa M, Hirano K, Shimada C, Hasegawa M.: Topical washing with miconazole soap for the preventive use to diaper candidiasis: a prospective, double-blind, placebo-controlled trial., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215
- 1733052** Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Utsunomiya A, Hasegawa M.: Circulating IgG autoantibodies to ECM1 contribute to the altered expression of hemidesmosomal and vascular antigens in lichen sclerosus skin., The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Kochi, 20171215, 188
- 1733053** Hasegawa M, Vu H Luong, Chino T, Oyama N, Sasaki Y, Ogura D, Niwa S, Fujita M, Okamoto Y, Otsuka M, Ihn H: A novel TGF- β /Smad signaling inhibitor ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis., 47th Annual ESDR Meeting, Salzburg(Austria), 20170927
- 1733054** Matsushita T, Date M, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K: Inhibition of p38 MAP kinase suppresses murine Sclerodermatous Chronic Graft-Versus-Host Disease., 47th Annual ESDR Meeting, Salzburg(Austria), 20170927
- 1733055** Komura K, Hasegawa M: Nailfold vascular findings of anti-melanoma differentiation-associated gene 5 antibody-positive patients with dermatomyositis., 47th Annual ESDR Meeting, Salzburg(Austria), 20170923
- 1733056** Takahashi H, Oyama N, Hasegawa M: Preventive effects of topical washing with miconazole nitrate-containing soap to diaper candidiasis in the hospitalized elderly prospective, double-blind, placebo-controlled study., 47th Annual ESDR Meeting, Salzburg(Austria), 20170927
- 1733057** Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Utsunomiya A, Vu H Luong, Nishijima K, Yoshida Y and Hasegawa M.: Serodiagnostic utility and in vivo expression profile of hemidesmosomal antigens in lichen sclerosus: A confocal laser scanning immunofluorescence microscopic study., 76th Annual Meeting portland Oregon., Oregon(USA), 20170426
- 1733058** Vu H Luong, Chino T, Tokuriki A, Oyama N, Sasaki Y, Ogura D, Niwa S, Fujita M, Okamoto Y, Otsuka M, Ihn H and Hasegawa M.: A novel small compound HPH-15 antagonizes TGF- β /Smad signaling and ameliorates experimental skin fibrosis., 76th Annual Meeting portland Oregon., Oregon(USA), 20170426

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

- 1733059** 長谷川 稔: 限局性強皮症、好酸球性筋膜炎、硬化性萎縮性苔癬:ガイドラインの解説, 第81回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 教育講演10, 東京都新宿区, 20171118, 抄録集, 77
- 1733060** 長谷川 稔: 硬化性萎縮性苔癬の診断と治療, 第69回日本皮膚科学会西部支部学術大会, ガイドライン講習会3, 熊本市, 20171028

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1733061** 尾山 徳孝: PAPA症候群、PASH症候群, 第41回日本小児皮膚科学会学術大会, シンポジウム1, 福井市, 20170708, 抄録集, 37

c. 一般講演 (口演)

- 1733062 小泉 遼, 飯野 志郎, 笠松 宏至, 井戸 英樹, 尾山 徳孝, 井波 真矢子, 長谷川 稔: PAPASH症候群を疑った1例, 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台市, 20170602, 1197
- 1733063 飯野 志郎, 小泉 遼, 宇都宮 慧, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 木村 洋平, 成田憲 彦, 小林 泰三: ニボルマブ、イビリマブ投与後に急性喉頭蓋炎を発症した進行期直腸癌性黒色腫の1例, 第33回皮膚癌性腫瘍学会学術大会, 秋田市, 20170630
- 1733064 加藤 卓浩, 飯野 志郎, 馬場 夏希, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 小上 瑛也, 大越 忠和, 石黒 和守: 基底細胞癌との鑑別を要した鼻翼部脂腺癌の1例, 第33回皮膚癌性腫瘍学会学術大会, 秋田市, 20170630
- 1733065 小泉 遼, 飯野 志郎, 笠松 宏至, 本多 美貴, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 東馬 智子, 和田 泰三, 谷内江 昭宏: PAPA症候群を疑った1例: PSTPIP1遺伝子変異の評価とTNF阻害薬の効果, 第1回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会, 東京都, 20180120
- 1733066 島田 絵理華, 尾山 徳孝, 知野 剛直, 宇都宮 夏子, 徳力 篤, 長谷川 稔, 安富 素子, 大嶋 勇成, 酒井 康弘, 早川 幸紀: BCG接種後の女兒に生じた壊死性丘疹状結核疹の1例, 第41回日本小児皮膚科学会学術大会, 福井市, 20170708
- 1733067 知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, 馬場 夏希, 徳力 篤, 長谷川 稔: 当科で経験した肥満細胞症4例のc-kit遺伝子解析, 第41回日本小児皮膚科学会学術大会, 福井市, 20170708
- 1733068 宇都宮 夏子, 宇都宮 慧, 笠松 宏至, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 大嶋 勇成: Anterior cervical hypertrichosisの1例, 第41回日本小児皮膚科学会学術大会, 福井市, 20170708
- 1733069 沖山 奈緒子, 浅野 善英, 濱口 儒人, 神人 正寿, 茂木 精一郎, 小泉 遼, 長谷川 稔, 石川 治, 佐藤 伸一, 竹原 和彦, 山本 俊幸, 藤本 学, 伊 浩信: 成人限局性強皮症の新規簡易日常生活動作障害スコアリングシステムの有用性, 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733070 妻井 直樹, 染矢 富士子, 長谷川 稔, 藤本 学, 松下 貴史, 濱口 儒人, 竹原 和彦: キャピラリースコープ所見の5年経過と手指拘縮に至る要因, 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733071 岡 晃, 石川 治, 竹原 和彦, 藤本 学, 長谷川 稔, 桑名 正隆, 川口 鎮司, 山本 俊幸, 高橋 樹, 後藤 大輔, 佐藤 伸一, 浅野 善英, 遠藤 平仁, 神 戸 正寿, 伊 浩信: 全身性強皮症エクソーム解析, 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733072 宇都宮 慧, 長谷川 稔, 浅野 善英, 石川 治, 遠藤 平仁, 小川 文秀, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 佐藤 伸一, 高橋 裕樹, 竹原 和彦, 田中 住明, 藤本 学, 伊 浩信: 本邦における全身性強皮症早期重症化の臨床症状の推移: 多施設前向き研究, 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733073 横山 望, 川崎 綾, 松下 貴史, 古川 宏, 長岡 章平, 島田 浩太, 杉井 章二, 片山 雅夫, 永井 立夫, 廣畑 俊成, 岡本 亨, 千葉 実行, 末松 栄一, 瀬戸口 京吾, 河野 肇, 石田 清志, 住田 孝之, 當間 重人, 長谷川 稔, 藤本 学, 佐藤 伸一, 竹原 和彦, 土屋 尚之: GTF2I領域多型と全身性強皮症との関連, 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733074 Vu H Luong, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 小原 隆, 久保井 良和, 石井 直人, 待永 明仁, 小笠原 秀晃, 池田 わたる, 今井 俊夫: CX3CL1-CX3CR1 pathway is a potential target for therapy of systemic sclerosis., 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733075 松下 貴史, 濱口 儒人, 長谷川 稔, 藤本 学, 竹原 和彦: プレオマイシン誘発強皮症モデルマウスにおけるIL-6産生EffectorB細胞を標的とした新規治療法の開発, 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733076 小泉 遼, 小泉 慧, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 丹羽 真一郎, 大塚 雅巳, 伊 浩信: 強皮症マウスモデルを用いた既存化合物LKC008の抗線維化作用の検討, 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会議, 東京都, 20180113
- 1733077 小泉 遼, 井戸 英樹, 笠松 宏至, 飯野 志郎, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 井波 真矢子, 越後 岳士: 腰部に生じた巨大な深在性ループエリテマトーデスの1例, 第47回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会学術大会, 第41回皮膚脈管・膠原病研究会, 鹿児島市, 20171208
- 1733078 宮永 美紀, 宇都宮 夏子, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 伊藤 尚弘, 村井 宏生, 大嶋 勇成: アサリによる新生児-乳児消化管アレルギーの2例: パッチテストを用いたアサリ内の抗原局在の検討, 第47回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会学術大会, 第41回皮膚脈管・膠原病研究会, 鹿児島市, 20171208
- 1733079 小泉 遼, 尾山 徳孝, 安富 素子, 大嶋 勇成, 長谷川 稔: ヒドロキシクロロキン塩酸塩が著効したlupus erythematosus tumidusの1例, 第81回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京都, 20171118, 抄録集, 179
- 1733080 宇都宮 慧, 尾山 徳孝, 笠松 宏至, 加藤 卓浩, 清水 千尋, 知野 剛直, 長谷川 稔, 松岡 紗恵: 骨髄異形成症候群に併発した好酸球性筋膜炎の1例, 第69回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 熊本市, 20171028, 抄録集, 156
- 1733081 馬場 夏希, 飯野 志郎, 加藤 卓浩, 笠松 宏至, 小泉 遼, 宇都宮 慧, 長谷川 稔, 塩浦 宏樹, 小村 一浩, 石黒 和守, 平泉 泰: 腋窩にセンチネルリンパ節が同定されたMerkel細胞癌3例の治療経験, 第68回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 京都市, 20171007, 抄録集, 132
- 1733082 宇都宮 夏子, 宇都宮 慧, 加藤 卓浩, 馬場 夏希, 知野 剛直, 飯野 志郎, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 小林 英理子: 硬化性苔癬を基盤に発症したHPV11, 16型陽性有棘細胞癌の1例, 第68回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 京都市, 20171007, 抄録集, 128
- 1733083 知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, 馬場 夏希, 徳力 篤, 長谷川 稔: 当科で経験した肥満細胞症4例のc-kit遺伝子変異の解析, 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山市, 20170923, 抄録集, 136
- 1733084 宮永 美紀, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: Ca拮抗薬で誘発された乾癬型薬疹の1例, 第32回日本乾癬学会学術大会, 東京都, 20170908
- 1733085 飯野 志郎, 井戸 英樹, 笠松 宏至, 小泉 遼, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 早川 幸紀: 長期罹患後に手術治療を行ったリポイド類壊死症の1例, 第32回日本皮膚外科学会総会・学術集会, さいたま市, 20170722
- 1733086 馬場 夏希, 八代 浩, 長谷川 義典, 長谷川 稔: 両腋窩のセンチネルリンパ節のみに転移した背部正中悪性黒色腫の1例, 第33回皮膚癌性腫瘍学会学術大会, 秋田市, 20170630
- 1733087 八代 浩, 馬場 夏希, 長谷川 義典, 金原 秀雄, 加藤 卓浩: イビリマブとニボルマブ投与、各々でACTH値が低下し、下垂体機能低下症が疑われた若年悪性黒色腫の1例, 第33回皮膚癌性腫瘍学会学術大会, 秋田市, 20170630
- 1733088 宇都宮 慧, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: 皮下膿瘍を生じたカギキコマチグモによるクモ咬傷の1例, 第48回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術集会, 福井市, 20170630
- 1733089 飯野 志郎, 笠松 宏至, 宇都宮 慧, 山口 由佳, 井戸 英樹, 徳力 篤, 長谷川 稔, 酒井 康弘, 今村 好章: 内眼角部の結節, 第33回日本皮膚病理組織学会, 東京都, 20170616
- 1733090 高橋 秀典, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: ミコナゾール硝酸塩を含有する石鹸による外陰部ガンジタ症予防効果に関する研究, 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台市, 20170602, 1147
- 1733091 山口 由佳, 飯野 志郎, 笠松 宏至, 宇都宮 慧, 高嶋 渉, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 乾癬の臨床像と病理組織像を呈したニボルマブによる免疫関連有害事象(irAE)の1例, 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台市, 20170602, 1199
- 1733092 加納 宏行, 井上 雄二, 金子 栄, 新谷 洋一, 辻田 淳, 長谷川 稔, 藤田 英樹, 茂木 精一郎, レバヴァーアンドレ: 創傷、褥瘡、熱傷の治療に共通する創傷一般基礎知識, 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台市, 20170602, 982

業績一覧

d. 一般講演 (ポスター)

1733093

知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, 馬場 夏希, 徳力 篤, 長谷川 稔: 当科で経験した肥満細胞症4例のc-kit遺伝子変異の解析, 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山市, 20170923

1733094

宇都宮 慧, 知野 剛直, 宇都宮 夏子, Vu H Loung, 徳力 篤, 尾山 徳孝, 東 清史, 齊藤 幸一, 長谷川 稔: 表皮に発現するdermokine- β /rの役割: 遺伝子欠損マウス作成による解析, 第45回日本臨床免疫学会総会, 東京都, 20170928, 抄録, 318

1733095

知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, 長谷川 稔, 久保 亮治: LMNA遺伝子の変異により発症した色素異常を伴う先天性脂肪萎縮症の1例, The 1st Meeting of Japanese Society for Vitiligo, 大阪市, 20180309

1733096

宇都宮 夏子, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 笠 松宏至, 島田 絵理華, 山口 由佳, 宮 永美紀, 知野 剛直, 徳力 篤, 飛田 征男, 長谷川 稔: 多形紅斑皮疹を生じた中毒疹の1例: ミドリムシ製剤と薬剤リンパ球刺激試験(DLST)の有用性について, 第66回日本アレルギー学会学術大会, 東京都, 20170616

1733097

小泉 遼, 田居 克規, 津谷 寛, 糟野 健司, 長谷川 稔: 著明な胸腹水貯留で治療に難渋している全身性強皮症の1例, 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡市, 20170420

e. 一般講演

f. その他

1733098

長谷川 稔: 強皮症の血管を守るために, 第69回日本皮膚科学会西部支部学術大会, スポンサーセミナー8, 熊本市, 20171028

1733099

長谷川 稔: 強皮症の皮膚潰瘍は予防できる, 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会, ランチョンセミナー2, 郡山市, 20170923, 抄録集, 92

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

1733100

長谷川 稔: 「膠原病の皮膚病変と最近の話題」, 日本皮膚科学会第381回福岡地方会, 「膠原病の皮膚病変と最近の話題」, 久留米市, 20170702

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

1733101

上杉 沙織, 本多 美貴, 小泉 遼, 井戸 英樹, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 佐藤 英: 紫外線療法で経過をみている皮膚形質細胞増多症の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第455回例会福井県分科会, 福井市, 20170910

1733102

加藤 卓浩, 飯野 志郎, 上杉 沙織, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 樋口 翔平, 酒井 康弘: 足部外側縁に生じた皮膚混合腫瘍の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第456回例会, 金沢市, 20171210

1733103

長谷川 稔, 小泉 遼, 尾山 徳孝: ヒドロキシクロロキンの併用が巨大な潰瘍の治療を促進した深在性ループスエリテマトーデスの1例, 第46回日本皮膚科学会大阪地方会-片山一朗教授退官記念地方会-, 大阪市, 20180310

1733104

宇都宮 慧: 骨髄異形成症候群に併発したびまん性筋膜炎の1例, 第128回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 20180315

1733105

長谷川 巧, 小泉 遼, 上杉 沙織, 笠 松宏至, 飯野 志郎, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 伊藤 和広: トシリズマブ投与中の関節リウマチ患者の下肢に生じたSerratia marcescens による壊死性軟部組織感染症の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第457回例会, 金沢市, 20180225

1733106

宮永 美紀, 加藤 卓浩, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 福島 克治: 夫婦間で異なる皮疹を生じた第2期梅毒, 日本皮膚科学会北陸地方会第457回例会, 金沢市, 20180225, 3

1733107

上杉 沙織, 飯野 志郎, 島田 絵理華, 加藤 卓浩, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 小上 瑛也, 今村 好章, 酒井 康弘, 西村 陽一: 中年男性に発症した若年性側頭動脈炎の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第456回例会, 金沢市, 20171210

1733108

加藤 卓浩, 飯野 志郎, 馬場 夏希, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 小上 瑛也, 大越 忠和, 石黒 和守: 基底細胞癌との鑑別を要した鼻翼部脂腺癌の3例, 第127回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 20171014

1733109

笠 松宏至, 飯野 志郎, 加藤 卓浩, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 成田 憲彦, 西村 陽一: ニボルマブが奏効して耳輪部悪性黒色腫の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第455回例会福井県分科会, 福井市, 20170910

1733110

上杉 沙織, 山口 由佳, 高嶋 渉, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 顕著な皮下硬結を呈した皮下型サルコイドーシスの2例, 日本皮膚科学会北陸地方会第454回例会, 金沢市, 20170625

1733111

宮永 美紀, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 酒井 康弘, 今村 好章: 過酸化ベンゾイル外用療法が有効であった後天性穿孔性皮膚症の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第454回例会, 金沢市, 20170625

1733112

本多 美貴, 小泉 遼, 島田 絵理華, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: SLEの治療中に連環状靴襠疹を生じた1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第454回例会, 金沢市, 20170625

1733113

加藤 卓浩, 飯野 志郎, 笠 松宏至, 高嶋 渉, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔, 法木 左近: 足底desmoplastic melanomaの1例, 第126回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 20170602

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1733114

長谷川 稔: 「強皮症の血管病変: 皮膚症状を中心とした話題」, 第9回東海・北陸膠原病循環障害研究会, 特別講演, 名古屋市, 20180303

1733115

長谷川 稔: 「強皮症の皮膚症状」, 膠原病マネジメントセミナー, つくば市, 20180223

1733116

長谷川 稔: 「膠原病の血管病変」, 鳥取臨床皮膚科医会, 特別講演, 米子市, 20180215

1733117

長谷川 稔: 「皮膚炎症性疾患の診断と治療~専門医に紹介する疾患は?~」, 竹林会皮膚疾患学術講演会, 特別講演, 福井市, 20180130

1733118

長谷川 稔: 「寒冷刺激が関与する皮膚症状」, 東海地区(愛知・岐阜・三重)合同皮膚科医会, 学術講演1, 名古屋市, 20170128

1733119

長谷川 稔: 「皮膚アレルギー性疾患診療の基本から応用まで」, 福井県内科医会学術講演会, 福井市, 20171202

1733120

宇都宮 慧: デルモカイン欠損マウスにおける皮膚バリア機能の解析, 第8回皮膚科最新医療研究会, 教育講演, 東京都港区, 20171201

業績一覧

1733121 長谷川 稔: 「膠原病の皮膚血管病変」, 日本医師会生涯教育講座 旭川強皮症セミナー, 旭川市, 20171102

1733122 長谷川 稔: 「膠原病・ANCA関連血管炎にみられる皮膚血管病変」, 第8回東海血管炎研究会, 特別講演, 名古屋市, 20171118

b. シンポジスト・パネリスト等

1733123 飯野 志郎: フットケアを深める爪の基礎から臨床まで間違えてはいけない爪部腫瘍, 日本フットケア学会 年次学術集会, シンポジウム10, 福岡市, 20180209

c. 一般講演(口演)

1733124 小泉 遼, 本多 美貴, 笠松 宏至, 飯野 志郎, 井戸 英樹, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: PAPASH syndrome疑いの1例, 第66回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 金沢市, 20170610

1733125 小泉 遼: 強皮症クリーゼと大量の腹水を呈した全身性強皮症の1例, 第9回東海・北陸膠原病循環障害研究会, 名古屋市, 20180303

1733126 小泉 遼: PAPASH症候群を疑った1例, 第8回福井の乾癬を考える会, 福井市, 20170715

d. 一般講演(ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容(発明の名称)	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	抗CX3CL1中和抗体を用いた全身性強皮症の治療法の開発	長谷川 稔		2017	1430000
厚生労働省科学研究費補助金	難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	長谷川 稔		2017	150000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	硬化性萎縮性苔癬の細胞外基質を標的とする免疫異常の病態解明と分子標的治療への応用	宇都宮 夏子		2017	1430000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	抗線維化作用を有する新規化合物を用いた強皮症の治療開発	小泉 遼		2017	1430000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	マウスを用いたアトピー性皮膚炎や魚鱗癬の胎児治療の確立	知野 剛直		2017	2080000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	乾癬の病態におけるデルモカインβ/γの役割の解明	徳力 篤		2017	2080000
学内競争的資金		皮膚バリア機能と局所免疫反応のクロストークにおけるDermokineの役割の検討	宇都宮 慧		2017	400000

(B) 奨学費等

受入件数	27
受入金額	13400000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(地方レベル)	主催者	日本皮膚科学会北陸地方会第455回例会福井県分科会	20170910	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第41回日本小児皮膚科学会学術大会	20170708-20170709	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第41回日本小児皮膚科学会学術大会	20170708-20170709	福井市
国内学会(地方レベル)	主催者	日本皮膚科学会北陸地方会第455回例会福井県分科会	20170910	福井市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本皮膚科学会	代議員	長谷川 稔
日本研究皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本皮膚免疫アレルギー学会	理事	長谷川 稔
日本乾癬学会	評議員	長谷川 稔
日本白癬学会	評議員	長谷川 稔
日本臨床免疫学会	評議員	長谷川 稔
日本免疫学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
日本リウマチ学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
強皮症研究会	監事	長谷川 稔
米国リウマチ学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
米国研究皮膚科学会	一般会員	長谷川 稔

業績一覧

日本皮膚外科学会	一般会員	清原 隆宏
日本皮膚悪性腫瘍学会	皮膚悪性腫瘍ガイドライン作成委員（一般会員）	清原 隆宏
日本皮膚科学会	一般会員	清原 隆宏
日本性感染症学会	一般会員	高橋 秀典
日本梅毒学会	評議員	高橋 秀典
日本医真菌学会	一般会員	高橋 秀典
日本皮膚科学会	一般会員	高橋 秀典
日本臨床免疫学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚病理組織学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚科学会	一般会員	高嶋 涉
日本医真菌学会	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚科学会中部支部	一般会員	高嶋 涉
日本皮膚科学会北陸地方会	一般会員	高嶋 涉

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	第25回自己抗体と自己免疫シンポジウム 疾患特異的自己抗体研究の最前線	長谷川 稔
一般講演（口演）	厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」研究班2017年度会議・第21回強皮症研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	Allergy Symposium in Fukui ～デザレックス錠5mg発売1周年記念～	長谷川 稔
一般講演（口演）	The 42th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology	長谷川 稔
一般講演（口演）	第47回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会学術大会・第41回皮膚脈管・膠原病研究会	長谷川 稔
一般講演（口演）	第8回皮膚科最新医療研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第9回福井県皮膚潰瘍研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	Allergy Symposium in Fukui -ピラノア錠発売1周年記念講演会	長谷川 稔
招待・特別講演等	オテズラ錠発売記念講演会 in福井	長谷川 稔
招待・特別講演等	乾癬治療研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井皮膚疾患研究会2017	長谷川 稔
招待・特別講演等	HUMIRA講演会 Psoriasis Expert Forum in Fukui	長谷川 稔
シンポジウム等	HUMIRA講演会 Psoriasis Expert Forum in Fukui	長谷川 稔
一般講演（口演）	第68回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第2回福井県膠原病セミナー	長谷川 稔
招待・特別講演等	膠原病を学ぶ会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第455回日本皮膚科学会北陸地方会福井県分科会	長谷川 稔
招待・特別講演等	尋常性ざ瘡フォーラム in福井	長谷川 稔
招待・特別講演等	第8回福井の乾癬を考える会	長谷川 稔
一般講演（口演）	日本皮膚科学会北陸地方会第456回例会	飯野 志郎
一般講演（口演）	第41回日本小児皮膚科学会学術大会	徳力 篤

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
PLOS ONE		長谷川 稔
Cytokine		長谷川 稔
Immunol Lett.		長谷川 稔
Case reports in Hematology		長谷川 稔
Inflammation Research		長谷川 稔
Pediatr Int		長谷川 稔
J Invest Dermatol		長谷川 稔
J Environ Dermatol Cutan Allergol		長谷川 稔
J Rheumatol		長谷川 稔
J Inter Med Res		長谷川 稔
JEADV		長谷川 稔
Dermatology Clinics and Therapy		長谷川 稔
J Dermatol		長谷川 稔
Mod Rheumatol		長谷川 稔
J Scleroderma Relat Disord		長谷川 稔

業績一覧

Eur J Dermatol.		長谷川 稔
J Dermatol Sci.		長谷川 稔
J Dermatol Clin Res.		長谷川 稔
Journal of Dermatology	委員	長谷川 稔
Journal of Dermatological Science.	委員	長谷川 稔
Journal of Dermatology Research & Therapy.	委員	長谷川 稔

(E) その他

- 1733127** 高嶋 渉: 乾癬について (FBCラジオ), ユーグレディオ, 20170608
- 1733128** 高嶋 渉: 「Radioあいらんど」福大病院まちかどラジオ (福井街角放送), 皮膚と紫外線対策, 20170831
- 1733129** 加藤卓浩: 「おかえりなさい」おかえりホームドクター (福井テレビ), 皮膚がんについて, 20171016
- 1733130** 宇都宮 夏子: 「Radioあいらんど」福大病院まちかどラジオ (福井街角放送), 硬化性苔癬, 20170905
- 1733131** 丸田直樹: ふくいのドクター相談室 (福井新聞), アタマジラミの対策は?, 20170831
- 1733132** 高嶋 渉: 「Radioあいらんど」福大病院まちかどラジオ (福井街角放送), 皮膚と紫外線対策, 20170831
- 1733133** 高嶋 渉: 乾癬について (FBCラジオ), ユーグレディオ, 20170608
- 1733134** 宇都宮 夏子: 「硬化性苔癬」知って 女性外陰部変色、かゆみ 排尿障害や皮膚がん恐れも 福井大病院女性対応「受診を」(福井), 20171102
- 1733135** 加藤卓浩: 「おかえりなさい」おかえりホームドクター (福井テレビ), 皮膚がんについて, 20171016
- 1733136** 宇都宮 夏子: 「硬化性苔癬」知って 女性外陰部変色、かゆみ 排尿障害や皮膚がん恐れも 福井大病院女性対応「受診を」(福井), 20171102
- 1733137** 宇都宮 夏子: 「Radioあいらんど」福大病院まちかどラジオ (福井街角放送), 硬化性苔癬, 20170905